

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

◇点 鐘 山田 利明会長
 ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

第1519回例会 令和2年9月10日(木)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。会長が4回目になりました。話のネタがなくなってしまったので、本から引用したり、自分の考えをお話しています。

今日例会開始が少し遅れたのは、ガバナー補佐との話が弾みまして、時間が過ぎてしまいました。申し訳ありませんでした。

今日は「変わる事を恐れない」という内容の話をして。変化すると美しいと。コロナの発祥で生活が変化しました。うまく対応出来ているのでしょうか。春になれば桜が無条件に咲き、美しいです。毎日変化して、つぼみは見るとうちに咲き始め、そして満開になって、1週間ほど過ぎると散り始め、青葉になります。その変化がきれいだという事です。我々も毎日生きていますが、私はもうすぐ70才になりますが、日々成長してきました。これからは精神的には成長するかもしれませんが、肉体的には紅葉になって、おじいさんになってきています。その変化がその時々で、その時代を過ぎていく事が、植物は美しく、人間にも良いことではないかと。その変化に対応すると、毎日が良い生活が送れますという事です。

皆さん、コロナが蔓延する中で、生活の中ではマスクをし、手指の消毒をして対応しなくてはなりません。毎日少しずつ違ってきて、昨年はマスクをする人はいなくて、コロナが感染拡大する中で、スーパーではマスクをし、消毒もします。そうした中でインフルエンザにもかからなくなって、今年はそういった事をやる事に対して良い事なのではないかと。このような変化に対応して行くと、人間はいつまでも若くいられます。コロナに対して良いとは言えませんが、いろいろ考えてやる事は、若さを保つ秘訣かなと。日々明日の事は分かりませんから、対応していく精神をロータリーの中で皆さんと話しながら楽しくやっていたらいいと思っています。

今日は変わる事を恐れない。変わる事は楽しいという話をしました。



【幹事報告】

高田 富康

1. 地区事務所より
 - ①地区大会の案内
 - ②基本的教育と識字率向上月間リソースの案内
2. 本庄南ロータリークラブよりグローバル補助金を活用した台湾への人道的支援事業の成果報告について



深谷ノースロータリークラブ



パスト会長 関口 善伯様
皆野・長瀬ロータリークラブの皆さんには私が会長をやった時から10数年のお付き合いをさせて頂いております。

次年度2回目の会長をやる事になりました。ロータリー活動をのんびりと楽しんでいましたが、次年度は気持ちを引き締めて活動していきたいと考えています。

深谷ノースロータリークラブ



幹事 高田 幸生様

今年度幹事を仰せつかっております。仕事は社会保険労務士をしております。一昨年新島ガバナー補佐が会長の時に幹事を務めさせて頂いておりますので、2回目の幹事になります。

私は今年で7年目になりますが、他クラブさんにお伺いするのは数えるほどしかありませんが、今年度いろいろなクラブさんを見させて頂いて勉強になっておりますので、機会があればまた参加したいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

秩父ロータリークラブ



会長 太田 雅孝様

年2回の皆野・長瀬と秩父の合同例会以外に来た事がございませんでしたので、本日参りました。15日が秩父ロータリークラブにおきましてのガバナー補佐訪問例会になります。そして24日は相原ガバナーを迎えましての皆野・長瀬との合同になります。今日は勉強をしに参りました。



ガバナー補佐卓話

R I 第 2 5 7 0 地区第 4 グループ



ガバナー補佐 新島 修一様

自己紹介から始めさせていただきますが、年齢が71才になります。ロータリー歴は31年です。地区の役員も24年務めて参りまして、その24年のうち、国際奉仕の方で15年携わって参りました。

今年で深谷ノースは創立20周年になります。20周年式典もコロナでどうなるか分かりませんが、最後のさよなら例会まで引き延ばして、6月の最終例会を20周年記念式典とさよなら例会を併せてこじんまりするような形を考えております。

私は深谷ノースロータリークラブを立ち上げる時のメンバーの一人で、深谷ロータリーに10年ほど所属しておりました。ガバナー月信にも書きましたが、ロータリーへの入会の動機は、入会して友人を増やして、商売のお客さんも増やしたいという事で入会しましたが、5、6年経ってみて、それほどお客さんになりそうな人もいないし、友達に関しても幼なじみ以上の友達も出来そうにないと考えて、退会しようと思っていました。

そのような状況の中で、入会6年の時にフィリピンのピナツボ火山の災害視察に行きまして、フィリピンを始めて訪問致しました。その時にフィリピンのロータリアンのお宅にホームステイを致しまして、温かく歓迎されました。3泊4日の期間でしたが、温かくもてなして頂きまして、別れ際に胸が熱くなった自分を感じました。それからロータリーの国際奉仕の部分が好きになりまして、ロータリーの入会の目的はお客を増やす事ではなくて、ロータリーの中で海外に友達を作ろうという方向にロータリーに対する考え方が変わりました。それでフィリピンのお世話になったクラブと姉妹クラブ提携をしたくて深谷ロータリークラブに働きかけたのですが、当時深谷クラブはシンガポールに姉妹クラブを持っていて、当時1回受け入れる予算が270万円でした。もう一つ海外に姉妹クラブを増やすと予算が取れないので、ダメだよと言われてまして、それでは新しいクラブを作るという方向で動き出しました。

新しいクラブを作るのは大変で、深谷クラブが岡部ロータリークラブ作った時にはスムーズに進んだと思います。深谷東ロータリークラブを作った時には分裂という形で問題があったようですが、深谷ノースも内部から分裂という感じに捉えられましたので、新しいクラブを作るのに困難を極めました。何とか新しいクラブを作りたいという希望を持っていたフィリピンを訪問した仲間12名集まりまして、連判状を作ったり、毎週定期的に集まったりしました。その当時が一番面白かった時期でしたが、ロータリーが生きがいになって参りまして、仕事も新

しいロータリークラブを作るために仕事を合わせるといった、仕事を二の次にするような数年を過ごしました。この12名はロータリーに対する思い入れが非常に強く、ロータリーが生きがいになっています。

振り返ってみますと、入会6年目にフィリピンを訪問してロータリーの面白さに目覚めて、今後は海外に友達を作ろうという事に焦点を当てて、深谷ノースロータリークラブを立ち上げました。最初の年にオーストラリアと姉妹提携をして、翌年フィリピンと提携して、次の年にタイと姉妹提携をして、国内にも友達を作ろうという事で10年前に福島県の白川西ロータリークラブとも姉妹提携をしています。深谷ノースは外向きにメンバーが慣れてきていて、近所にも友達の輪を広げようという事で、7年前くらいから本庄南と岡部と深谷ノースで持ち回りで1年に3回交流しています。

私が大きいクラブに卓話に行った事がありますが、大きいクラブですと自分のクラブの中でまとまって、外に出ようとしないクラブがあります。うちのクラブは創立時が36名で、現在も30名近くです。会員数が減らないという点では深谷ノースは良いクラブだと思っております。特徴は海外と一緒に旅行する仲間が出来る。これが母体になって輪が広まっているという事が特徴だと思います。

熊谷ロータリーさん、本庄ロータリーさんには私が卓話に行っているのですが、会長さんはその気になっても理事会で海外に姉妹クラブをつくるのは慎重になった方がいいと見合わせる。次の会長さんは海外に姉妹クラブを作ろうという気力が無くなってしまって、結局内側だけのお付き合いで外に出て行かないという状況になっているといった感じがします。ロータリーのバッジを見ますと、ロータリーインターナショナルと書いてあります。ロータリーの面白さはインターナショナルの部分が一番の特徴だと私自身外に出て行って、そう感じます。

フィリピンの話に戻りますが、始めて会った人にホームステイさせてもらって、朝から晩までフィリピンの町を案内して頂きました。私の面倒を見てくれたのは、その町のベスト10に入るようなスーパーリッチの金持ちでした。ホームステイ致しますと、家族同様の付き合いが出来るような気持ちになります。

それを切っ掛けにその家族と長く付き合えるように会話出来るようにと英会話の勉強を始めました。50才の時に英検3級にチャレンジしてみました。ちょっと勉強して、合格したのに自信が出来ました。それから入浴中に15分、トイレでも10分くらいCDを聞いて、車の中でもCDの英会話を聞いていました。現在も15程度毎日英会話を聞いています。現在では日常の英会話は誰とでもしゃべれるようになってきました。

私も山田さんと同じように人は変わる。人は成長すると。更にはクラブはファミリーだという事を付け加えたいです。ロータリークラブは入会すると、退会するまでは家族と同じように、性格のいい人も悪い人もいます。けれども死ぬまで付き合い家族だと。自分のクラブのメンバ

一が他のクラブのメンバーから悪口を言われれば、かばうような気持ちが生まれてくるのが、クラブの中の会員同士の付き合いだろうと思っています。

クラブを大切にしてお歳を楽しく生きたい。私は年を取ったらおしゃれして生きようと思っています。ロータリークラブに入っていると、おしゃれして出かける事が出来ます。地区役員を受けて24年になりますが、そういう点ではおしゃれして出かける場所があるからです。今蝶ネクタイを広める運動をしております、次回の会長・幹事会で皆さんに蝶ネクタイをプレゼントしようと思っております。実は蝶ネクタイを作る事が趣味で、買うと4千円します。古いネクタイを作り直して、今までに100個くらい作って、うちのクラブの皆さんにも配りました。海外の姉妹クラブのタイ、フィリピンの方にも土産として毎回蝶ネクタイを持って行っています。白川西のメンバーにも持って行く予定です。年を取ったらおしゃれしましょうという事を広めたいと思っております。

コロナについてですが、私がガバナー補佐をお引き受けしてからコロナ感染拡大によってロータリーの活動も出来なくなりましたので、今年度が始まる前の6月に会長幹事会開催について出来るかどうか心配致しました。4月から昨日までの感染状況ですが、7月1日の前と後ろで状況が変わっているのを報告させていただきます。7月1日までの感染者数は18,000人でした。7月1日から昨日までが55,000人の感染者です。死者数は7月1日までが970人、7月1日から今日までが430人です。死亡率を感染者数と比較すると、最初の武漢のコロナの時は死亡率が5.4%ですが、現在の欧州型は0.8%です。今のコロナは感染力は強いけれども死亡率は低くなっているという事を紹介したいと思って数字をあげさせて頂きました。現在までの死者は1,400人です。インフルエンザで昨年の死者は2,000人で、マスク、消毒、体温測定をすればインフルエンザよりもコロナの志望者数は低いという話を先ほど会長、幹事としました。こちらの会長から良い話を聞きましたが、部屋に紫外線の消毒装置を付けると、1部屋20万から30万らしいですが、コロナの感染力が低くなるという事でした。天井に近い部分に照射して消毒して、有圧換気扇で部屋の空気の圧力を上げれば、消毒された空気が各部屋に流れるという良い話を聞きました。

相原ガバナーの紹介をさせて頂きます。相原ガバナーの年齢は今年65才です。ロータリー歴が15年です。5年前に川越ロータリークラブの会長をされ、3年前に第1グループのガバナー補佐を経験されております。

相原さんのお父さんは43年前の1977年にガバナーをされております。お父さんの名前も相原茂吉さんで、現在のガバナーはお父さんの名前を襲名されております。何故かと言うと、先代の相原さんにはお子さんがいなくて、弟さんがお医者さんですが、その次男として生まれて、子供の時からうちに養子に来るんだと言われて育ち、結婚して先代の相原さんの所に夫婦養子に入りました。その時に名前を襲名したそうで

す。

先代の相原さんは川越市の名誉市民になっております。日本画でも有名な方だそうです。川越市には相原美術館がありまして、相原さんが北海道が好きで北海道の絵をたくさん書いており、北海道にも相原美術館があるそうです。川越市の中で相原茂吉さんという名前は重要人物の一人だろうと思っています。

もう一つ面白い事は、相原さんの娘さんが川越の今泉パストガバナーのお孫さんに嫁いでいます。相原ファミリーの中にはガバナー経験者が3人いらっしゃると。日本で探してもこういう家族はそうはいないだろうと思われる方です。そこから辺から出てくるガバナーとは生い立ちが違うという感じです。

相原ガバナーのテーマが「Let' make fellows」友達をつくらうというテーマです。ロータリーを通じて良い友達を作りましょう。良い友達は必ず自分の人生を豊かにしてくれます。

私が相原さんのテーマを聞いた時に私がロータリーに入った時に商売の輪を広げようと思っていたのが、海外に友達を作ろうと切り替えた私の気持ちと相通じるものがありまして、相原ガバナーが私の家にガバナー補佐をやってくれと来て頂いた時に、テーマを聞きまして、喜んでお引き受けさせて頂きますと。相原さんは頭もいい方ですが、紳士的な方で、良いときにガバナー補佐を引き受ける事が出来るようになったと喜んでおります。

それで私がどのくらいロータリーを通じて友達が出来たかという自慢話のようになりますが、私は海外に友達を作ろうという事で、名刺を数えてみました。海外のロータリアンと名刺交換した名刺が1,300枚ありました。特にフィリピンのロータリアンの名刺が一番多いですが、次に多いのがタイ、それからオーストラリアです。この3つは姉妹クラブです。GSEで来ましたブルネイとか深谷ロータリークラブ在籍の時はシンガポールに姉妹クラブがありましたので、多く友達がおります。今泉さんの奨学金の関係でミャンマーに行きましたが、ミャンマーにはロータリークラブはありませんが、ミャンマーの今泉さんの奨学生の方の名刺も50枚くらい増えました。ネパールにも書き損じ葉書で小学校行きましたので、ネパールのロータリアンの名刺も100名くらい。国内のロータリアンとの名刺交換を数えてみたら、同じ1,300枚でした。ロータリアンの名刺だけで2,600枚ありました。

その中で自分が心から尊敬しているロータリアンを紹介させて頂きますが、今泉パストガバナーで96才ですが、この方がビルマに戦争に行かれました。当時は英国の植民地でした。日本軍が行って、英国兵が逃げました。ミャンマーの方達は嫌な奴を追い出してくれたのは日本人だという意識です。ところがインパール作戦が終わらない内に敗戦になり、今度は日本人がイギリス軍に追われる立場になり、港に向かって逃げる時に散り散りになって逃げましたが、あちから英国軍が来るからこっちへとかお腹が空いているのだったらこれを食べなさいという事でミャンマーの人達が親切にしてくれたと

いうお話をうかがっています。今泉さんは引き揚げ者の中では遅い時期に帰って来ました。川越の町に入植するにあたり 遠く離れた鶴ヶ島に入植しました。時代の流れの中で川越から一番遠い所に線路が通りました、今泉さんの土地が駅前一等地になりました。事業に成功して、今は今泉ビルもありますし、アルカーサ川越も今泉さんの土地で、駐車場もレストランも今泉さんの土地に出来ておまして、鶴ヶ島では一番の金持ちになっています。

今泉さんが65才で定年になった時にミャンマーの人達に恩返しをしようという事で、ミャンマーから日本に来る留学生に1人に対して月に4万円、1年間で20人に奨学金を授与し、17年近く続けました。

今泉さんのすごい所は、自分がミャンマーの子供達に奨学金をやっている事を川越クラブにも話していませんでした。私はそれを親しい人から今泉さんが85才の時に聞きました。今泉さんがミャンマーの奨学生を援助するというミャンマーとのパイプが出来ているわけです。今泉さんが亡くなった後にパイプが切れるのはもったいないので、何とかロータリーで今泉さんの話をPRしてロータリーでレールを引き継いでいきたいと思います。ミャンマーと日本との交流を深めるためにロータリーがバトンタッチしたらいいのではないかと川越ロータリークラブに卓話に行きました。今泉さんは一言も話していないので、川越クラブも初めて知ったという形です。ミャンマー大使館から今泉さんに対する感謝状、ミャンマーの大統領が日本に来た時には一緒にお茶を飲んだりといった席に私も同行させて頂いた事もあります。今泉さんの子供より私が気に入られたというか、馬が合うと言いますか、親しくお付き合いをさせて頂いております。

電気屋の親父がロータリーでなければ、そんな立派な方とはお付き合いが出来ないだろうというお話をさせて頂きまして、結びの言葉とさせて頂きます。皆さんもぜひロータリーを通して友達の輪を広げて頂きたいと思っております。

ニコニコボックス

♪本日例会に参加しました。よろしくお願ひ致します。

秩父RC 太田 雅孝様

♪新島補佐はじめ、多勢の方に参加して頂き、にぎやかな例会になりました。ありがとうございました。

山田 利明・高田 富康
宮前 英雄・長岡 倉雄
小林 一夫・畝 徳治

合計 7,000 円

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
11	0	6	0	54.5%

